

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答は、全て解答用紙に記入しなさい。
- 3 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、記号で書きなさい。
- 5 問題用紙は、冊子の形になっています。
- 6 問題は、表紙の裏を1ページとし、7ページまであります。開始の合図で問題用紙の各ページを確認し、始めなさい。
- 7 問題用紙の表紙と解答用紙の受検番号欄に、それぞれ受検番号を記入しなさい。

受検番号

--

次は、プラスチックについて書かれた【本の一部】と【資料の一部】です。これらを読んで、後の1から5までの各問いに答えなさい。

【本の一部】

【A】

プラスチックは軽量で耐久性があり、好きな形に成形することができ、かつ安価に生産できるなど、極めて有用で、革命的とさえ言える素材だ。また、プラスチックに添加剤を混ぜることで、私たちの望む特性をもたせることができる。たとえば、ビスフェノールAとフタル酸エステルを添加することで、「水に強く、燃えにくい」プラスチックができる。こうしてプラスチックは「何にでも使える」素材となってきた。

現在は、環境問題の元凶のように目されているプラスチックだが、実は「環境保護のためにその利用が増えてきた」経緯もあると驚くかもしれない。初期の頃、プラスチックが多用されるようになった理由には主に二つあるという。

一つは、野生動物の保護だ。従来、装飾品などの材料として使われていた象牙やウミガメの甲羅をプラスチック材料で代用することで、ゾウやウミガメなどをできるだけ殺さずにすむ、というものだ。もう一つは、どのみち廃棄物になるしかなかった製油所からの副産物をプラスチックペレットとして利用し、経済的な価値に転換するという、廃棄物の有効活用である。

今世紀最大の課題と言われる温暖化の問題に対しても、軽量で耐久性の高いプラスチックは社会・経済活動に伴う温室効果ガスの排出量低減に役立ってきた。たとえば飲料ボトルがガラスからプラスチックに代わることで、軽量化が進み、輸送時のCO₂排出量が削減される。容器包装に高性能プラスチックを使用することで、食品貯蔵寿命を延ばすことができ、食品ロス削減につながる。

このように、プラスチックは多くの分野や製品・用途において、環境負荷低減に役立ってきた。しかし、プラスチックは人間が創り出した人工物であり、自然の中には存在しない。プラスチックをこれほどまでに特別で有用な素材にしているその特性ゆえに、プラスチックは基本的に自然に還ることができないのだ。プラスチックごみの大きな問題の一つは、「完全に分解されることはない」ことだ。より細かく砕かれていっても、消えることはない。たとえ肉眼では見えなくなっても、環境中に残り続ける。たとえば発泡スチロール製の容器は、分解するのに数千年もかかり、その間、水や土壌を汚染し続けるという。

プラスチックは基本的に自然に還らないため、これまでに生産されたプラスチックのほぼすべてが——埋め立て場であれ、海の中であれ——今でも存在し続けているのだ。

【B】

私たちの暮らしも経済活動も、地球から資源やエネルギーを取り出すことで営まれている。また、暮らしや経済活動で不要になったものは、廃棄物として地球に戻される。私たちの暮らしや経済活動から見ると、地球は資源やエネルギーの「供給源」であり、廃棄物の「吸収源」でもある。

「供給源」としての地球から供給されるものは、木材、魚、淡水、太陽光や風力といった「再生可能な資源」もあれば、石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料や鉱物資源といった「再生不可能な資源」もある。言うまでもなく、再生不可能な資源は使い切ったら、あとは使えなくなる。再生可能な資源は、その資源が再生するペースを超えなければ持続可能に使い続けることができる。

他方、「吸収源」としての地球に吸収してもらおう廃棄物も、地球が吸収し、無害化できるペースを超えずに排出していれば、問題ない。しかし、それを超えてCO₂が排出されているために温暖化が生じるように、地球の吸収能力を超えて廃棄物を排出するのは持続可能ではない。また、自然由来ではない人工物のように、そもそも地球には吸収できないものもある。言うまでもなく、そういったものを排出し続けるのは持続可能で

はない。

「これは環境問題だ」と言うとき、「供給源としての問題」と「吸収源としての問題」を区別することが肝要だ。ごっちゃになったままでは議論がかみ合わないことがよくあるからだ。

プラスチックの問題で言えば、数十年前に「レジ袋をやめよう」という運動が広がったことがあった。そのときの主な理由は「化石資源は枯渇するから」であった。そこで、業界団体から、「レジ袋は原油を精製する過程で生じるナフサを使って製造しているのだから、レジ袋をやめても化石資源の保全には関係ない」という声が上がリ、運動の勢いは失われた。ここでの問題は「供給源としての問題」であった。

昨今の「レジ袋をやめよう」という動向は、「吸収源としての問題」への対処として出てきていることに留意したい。たとえ、資源面で問題がなくても、製造・使用・廃棄されたレジ袋が道ばたや世界中の海に散逸し、もともと自然環境では分解されないプラスチックごみとしてたまり続けていることが問題となっておりるのである。

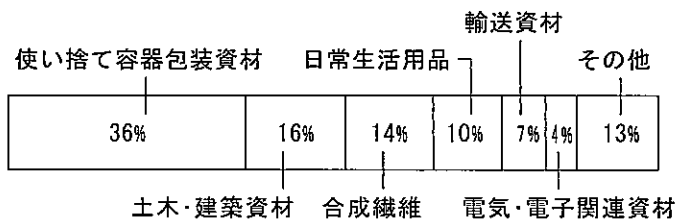
(注) 成形Ⅱ形を作ること。ビスフェノールA、フタル酸エステルⅡどちらもプラスチックを加工する際に添加する物質。元凶Ⅱ悪いことのおおもと。目するⅡ注意を向ける。ペレットⅡ小さな粒の形をしたもの。温室効果ガスⅡ地球から熱が逃げないような働きをする気体のこと。

食品ロスⅡ食べ残しや売れ残りなどで、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物。負荷Ⅱ負担になること。枯渇Ⅱつき果てて、なくなること。ナフサⅡ石油を精製する際に得られるガソリンの一種。散逸Ⅱばらばらになってどこかへいつてしまうこと。

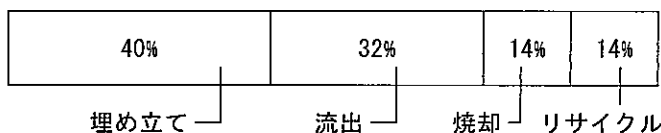
(枝廣 淳子 『プラスチック汚染とは何か』による。)

【資料の一部】

【グラフ①】 プラスチック世界年間生産量 (2015年) 合計 4億トン



【グラフ②】 世界の容器包装プラごみの行方 (2015年) 合計 1億4100万トン



人類がこれまでに生産したプラスチックのうち、約半分は21世紀になってからのものだと算出されています。なかでも驚異的な伸び率を示しているのが、飲料ボトル、ボトルキャップ、食品トレイ、外装フィルム、レジ袋など、容器や包装に使われているプラスチックです。

上の【グラフ①】は、2015年に生産されたプラスチック約4億トンを部門別に分類したものです。最大の36%、全体の3分の1以上を占めるのが容器包装部門です。

これらの容器包装プラスチックは、商品の輸送や保存、衛生管理に役立ち、いまや日々の暮らしの中で目にしない日はありません。しかし、これらは使い捨てであり、生産されたその年のうちに、ごみになってしまうものがほとんどです。生産量が多くなれば、当然、ごみの量も増えます。

同じ2015年に、ごみになったプラスチック約3億トンのうち、容器包装が占めるのは、実に47%に及びます。

しかし本当に問題なのは、これらのごみの行方です。2015年の全世界の容器包装プラごみ(【グラフ②】)のうち、リサイクルされたのは14%に過ぎません。残り86%のうち、埋め立てや焼却に回されたものを除くと、なんと32%が「流出」しているというのです。

容器包装プラごみは、軽量で風に飛ばされやすく、特にレジ袋は風船のように風をはらんで予想外に遠くまで移動します。しかもその寿命は定かではなく、数百年ないし千年たっても分解されないともいわれています。こうして流出したごみのうち、あるものは土壌に堆積し、あるものは海にたどりつきます。

(インフォビジュアル研究所 『図解でわかる14歳からのプラスチックと環境問題』による。)

1 【本の一部】の「A」の——線部はプラスチックの特性について述べています。この特性のうち、軽量であるということによるプラスチックの利点について、【本の一部】の「A」の中ではどのように説明されていますか。具体例を含めて書きなさい。

2 【本の一部】の「A」から読み取れることとして最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア プラスチックを利用した生活は、地球環境への負担があまりにも大きいということが最近の研究によって明らかになってきたので、早急に人間の暮らしを見直さなければならぬ。

イ もともと環境保護という面も持ち合わせていたプラスチックであるが、人間にとって有用な特性をもつがゆえに生じた弊害が、現在、地球環境に対する大きな問題となっている。

ウ プラスチックの歴史を振り返ると、その技術開発の中で環境保護を目的とする意外な一面もあったので、今一度初心に戻り、環境に配慮したプラスチックの開発を考えるべきだ。

エ 科学技術の進歩には、人間の意図にかかわらず、必ず功罪が現れてくるものであり、プラスチックも結果的に自然環境に悪い影響を及ぼしてしまっただけという経緯をたどっている。

3 【本の一部】の「A」と【資料の一部】について、【資料の一部】からのみ得られる情報はどれですか。最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア プラスチックは分解に数百年、数千年かかるということ。 イ プラスチックが食品の保存に役立っているということ。
ウ プラスチックは人工物で最終的にごみになるということ。 エ プラスチックのリサイクルが進んでいないということ。

4 【本の一部】の「B」の——線部について、本文から読み取れる理由はどのようなことですか。最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 再生可能な資源と再生不可能な資源の両方を使い続けるために、供給源の問題として解決策を議論すべきだから。

イ 環境問題には二つの側面があることを意識し、一側面に着目するのではなく、それぞれの面から考える必要があるから。

ウ 使用した資源の量と排出された廃棄物の量を分けて分析することで、科学的根拠に基づいた経済活動が可能になるから。

エ 環境問題においては二つの側面を同時に解決することはできないので、どちらか一方を優先することが重要だから。

5 【本の一部】の「B」の——線部について、「レジ袋をやめよう」という動きが起こったのはなぜですか。その理由を、【本の一部】の「B」と【資料の一部】の内容をふまえて、八十字以上、百二十字以内で書きなさい。

二

ひなたさんの学級では、敬語について意見文を書く学習をしています。次は、ひなたさんが意見文を書くために読んだ【本の一部】、資料として見つけた【敬語についての調査】、ひなたさんが書いた【意見文の下書き】、ひなたさんの【意見文の下書き】を読んでグループで交流しているときの【話し合っている様子】です。これらを読んで、後の1から4までの各問いに答えなさい。

日本語の場合には、人称による変化はない。

私が行く

君が行く

彼が行く

というように、人称が変わっても、動詞がそれに応じて変わるわけではない。

しかし、敬語による動詞の使い分けは、動詞の活用に近いものがある。たとえば、

一人称……今日、私は、会社に（ ）ます。

二人称……今日、（あなたは、）会社に行きますか？

三人称……今日、彼は、会社に行きます。

といった具合である。

だから、欧米の人々に、日本語の敬語体系について簡単に説明するときには、

「あなた方の言語は、人称によって動詞の語尾が変化する。一方、日本語では、話者と相手との関係によって、あるいは話者と話題の人物との関係によって動詞や助動詞そのものを使い分けるときがある。難しいだろうけど」と述べるというのではないか。

と、こんなことを常々考えていたら、敬語に関して、ずいぶんと明快に記述した書籍が現れた。

『敬語はこわくない』（井上史雄著）は、敬語を、社会制度の変化に応じて変わっていく動的なものとして捉え、その変化をわかりやすく解説している。

この文中に、

「明治時代に日本語の敬語を研究した欧米の言語学者の中には、敬語は人称を示すと考えた人がいたくらいである。」
という記述があった。まず私の説明も、あなたが間違っていないかということだろう。

井上氏も書いていることだが、逆の見方をすれば、私たち日本人は、敬語を使用することによって、主語を明確にしているのだ。

特に、日本語の話し言葉においては、主語はほとんど省略されるが、それでも意味が通じるのは、敬語（丁寧語などを含む広い意味での）によって関係を明瞭にしている点が大きい。

井上氏は、この点について、さらに次のように記している。

「ところが、自分と相手と同じ程度の敬語を相互的に使って話すようになると、敬語で人称を示すことが難しくなる。コミュニケーションの場で誰のことをいっているかが分かりにくくなり、誤解を避けるには主語を明示する必要がある。」

（中略）

日本語は、「I」や「YOU」のような、単純で汎用性のある人称代名詞を持っていない。「私」「僕」「オレ」「あなた」「君」「おまえ」と、私たちはいつも使い分けに苦労する。親しくもない奴に、急に「おまえ」よばわりされても困るし、「君」や「あなた」も、よそよそしい感じがする。

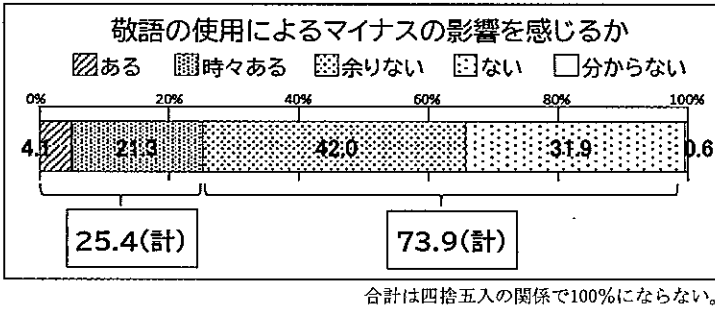
だが、もしかすると、敬語の変化のなかで、五〇年、一〇〇年の中には、もつと使いやすい（誰に対してでも使うことのできる）人称代名詞だつて生まれてくるかもしれない。敬語も、丁寧語を中心として、外国人にも学びやすい、より体系的なものに変わっていくだろう。

肝心なことは、私たちが、他者を大事に思い、他者とのコミュニケーションを円滑に進めたいと願う意思、気持ちの側にあるのだ。そこを出発点として、敬語の変化を捉えていくなら、まさに「敬語はこわくない」のである。

（注）汎用＝一つのものを広くいろいろの方面に用いること。話者＝話をする人。

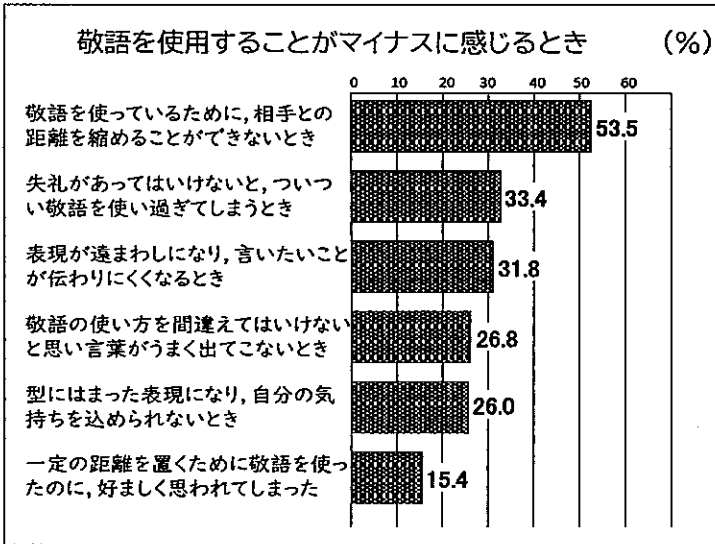
（平田オリザ『対話のレッスン』による。）

敬語を使うことが、人間関係を作っていくのに、かえってマイナスになると感じることもあるか
 -マイナスになると感じることは「ない(計)」と7割台前半が回答-



〔全体〕
 敬語を使うことが、人間関係を作っていくのに、かえってマイナスになってしまうと考えることがあるかを尋ねた。
 「ある」(4.1%)と「時々ある」(21.3%)を合わせた「ある(計)」は25.4%となっている。一方、「ない」(31.9%)と「余りない」(42.0%)を合わせた「ない(計)」は73.9%となっている。

敬語を使うことが、人間関係を作っていくのに、マイナスと感ずるのはどのようなときか
 -「敬語を使っているために、相手との距離を縮めることができないとき」が5割台半ばと最も高い-



〔全体〕
 敬語を使うことが、人間関係を作っていくのに、かえってマイナスになってしまうと考えることが「ある」「時々ある」と答えた人(全体の25.4%)に、それはどのようなときかを尋ねた(選択肢の中から幾つでも回答)。
 「敬語を使っているために、相手との距離を縮めることができないとき」が53.5%と最も高く、次いで「失礼があってはいけないと、ついつい敬語を使い過ぎてしまうとき」(33.4%)、「表現が遠まわしになり、言いたいことが伝わりにくくなる時」(31.8%)がそれぞれ3割台前半、「敬語の使い方を間違えてはいけないと思ひ、言葉がうまく出てこないとき」(26.8%)、「型にはまった表現になり、自分の気持ちを込められないとき」(26.0%)がそれぞれ2割台半ばとなっている。

(文化庁平成28年「国語に関する世論調査」による。)

- ① 敬語は、相手に敬意を表す言葉である。【本の一部】では、敬語によって人間関係が明らかになるといつている。私は相手に敬意を払いながら、その場にふさわしい敬語を使うことが大切だと思う。
- ② 例えば、先生や職場体験でお世話になった方など、目の人に対しては敬語を使っている。また、初対面の人と話すときも、相手がどのような人かわからないので、失礼がないように敬語を使っている。
- ③ 一方、【敬語についての調査】には、敬語を使うことが、人間関係を作っていくのに、かえってマイナスになってしまうと感じている人がいるという結果が載っている。その人たちの五割以上が、「敬語を使っているために、相手との距離を縮めることができないとき」を理由として挙げている。
- ④ では、敬語を使わなくてもよいのだろうか。先日、服を買いに行ったとき、初めて対応してくれた店員さんが、友達のように親しく話しかけてきて、どう受け答えすればよいのか困ってしまった。店員さんなりの接客だったのだろうか、私としては、なんとなく不快に感じた。
- ⑤ 敬語は、相手との関係をスムーズにし、相手のことを大切に思う気持ちを表す言葉だ。人間関係ができてくると、相手への敬意を払いながら、親しみを込めつつ緩やかに敬語を使っている。敬語は、同じ人に対してでも、時間の経過とともに変化するものであり、状況に応じて、その場にふさわしい敬語を使っていきたい。

【話し合っている様子】

ひなたさん…私は、身近なことがいいと思って、第②段落と第④段落に自分が生活の中で経験したことを書き
ました。

なつきさん…第③段落に、【敬語についての調査】のことを書いているね。

りょうさん…確かに、調査の結果を示すと説得力があるね。そうすると、第②段落も第④段落も同じように身
近なことでもいいのかな。ひなたさんは、第④段落ではどのようなことを書こうと思ったのですか。

ひなたさん…ちよっと見方を変えて、敬語は使わなくてもいいと思っっている人のことを書こうと思いました。

それで、あるお店に服を買いに行ったときのことを思い出して、その出来事を書いたのです。

りょうさん…なるほど。あまり敬語を使わない人とかいるし、人なつっこく話しかけてくる人もいるよね。身
近なことだから、みんなにわかりやすくいいと思うな。

なつきさん…でも、店員さんの話は、そんなにいつもあることではないと思うな。やっぱり、どのお店でも丁
寧な言葉で話されていることが多いし。私は、りょうさんが言ったように、調査の結果を使って、

自分の考えを書いた方がいいと思う。

1 【本の一部】の（ ）に当てはまるように、適切な謙譲語を一語で書きなさい。

2 【本の一部】の——線部について、筆者はどのように言い換えていますか。【本の一部】から二十五字以内で抜き出して書きなさい。

3 ひなたさんは、交流した後、【意見文の下書き】の第④段落を書き直すことにしました。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 第④段落の一文目に続けて書き、第⑤段落につながるように書くこと。

条件2 【敬語についての調査】の内容を引用し、その内容についてどう考えるかを含めて、八十字以上、百字以内で書くこと。

4 ひなたさんの学級では、この後の学習で、意見文の書き方についてまとめることになりました。あなたがまとめるとしたら、どのように書き
ますか。次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件1 第一段落には、【意見文の下書き】の構成や【話し合っている様子】の内容をふまえ、意見文を書くときの工夫点を三つ取り上げるこ
と。

条件2 第二段落には、工夫点として三つのことを取り上げた理由を書くこと。

条件3 原稿用紙の正しい使い方にしたいが、百字以上、百四十字以内で書くこと。

三

次の1から4までの各問いに答えなさい。

1 次の①から⑤までの文中の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- ① シュウイを見渡す。
- ② 気力をフルう。
- ③ シャンウから外を見る。
- ④ 年月をツイやす。
- ⑤ メンミツな計画を立てる。

2 次の①から⑤までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで書きなさい。

- ① 書類を申請する。
- ② 商品を陳列する。
- ③ 歓迎会を催す。
- ④ 注意を喚起する。
- ⑤ 現地に赴く。

3 次の文中の——線部の活用の種類と活用形は何ですか。活用の種類は、後の①のAからFまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。活用形は、後の②のaからfまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

「ありがとう、友よ。」二人同時に言い、ひしと抱き合い、それからうれし泣きにおいおい声を放って泣いた。

(太宰 治『走れメロス』による。)

- ① 活用の種類 A 五段活用 イ 上一段活用 ウ 下一段活用 エ カ行変格活用 オ サ行変格活用
- ② 活用形 a 未然形 b 連用形 c 終止形 d 連体形 e 假定形 f 命令形

4 次の【A】、【B】は、中国の『韓非子』という本にある話の【A】と、その現代語訳【B】です。これらを読んで、後の①と②の各問いに答えなさい。

【A】 楚人に、盾と矛とをひさぐ者あり。これをほめていはく、「わが盾の堅きこと、よくとほすものなし。」と。またその矛をほめていはく、「わが矛の利きこと、物においてとほさざるなし。」と。ある人いはく、「子の矛をもつて、子の盾をとほさばいかん。」と。その人、こたふることあたはざりき。

(竹内 照夫『新釈漢文体系 第12巻 韓非子(下)』による。)

【B】 楚の国の人で、盾と矛とを売る者がいた。その盾を自慢して言うには、「私の盾の堅いことといったら、突き通せるものはないのだ。」と。また、その矛を自慢して言うには、「私の矛の鋭いことといったら、どんなものでも突き通さないものはないのだ。」と。ある人が、「あなたの矛でああなたの盾を突いたら、どうなるか。」と尋ねた。その人は答えることができなかった。

- ① 【A】の——線部は、【B】のどの部分と対応していますか。適切な部分を【B】の中から抜き出して書きなさい。
- ② 【A】の話から生まれた故事成語を漢字で答え、意味を書きなさい。

